

横浜市立港南台第一中学校
令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針



(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

| 学校教育目標 | 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 |
|---------------------|---------------------------------------|
| 自ら考え ともに歩み 新たな社会を創る | 自己肯定感・コミュニケーション コミュニケーション・新たな価値の創造 |

(2) 中期取組目標

| 中期取組目標 |
|---|
| ○変化の激しい社会を、たくましく生きていく力を育て、多様性を意識させます。 ・個に応じた指導を充実し、主体的に取り組む授業を実践します。 ・コミュニケーションを通して、認め合う優しさを育てます。 ・体験学習や地域行事の参加など、社会や地域の理解を深めます。 |

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|--------|---|
| 確かな学力 | ①1学年数・英での少人数授業やT.Tについて、効果的な指導方法改善の実施。 ②新たな評価に関する研修の実施。(各教科での評価規準の読み込み) |
| 担当 | 学習・研修 |

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

1) 学力の概要と要因の分析

全教科ともに市の平均をやや上回る学力である。家庭学習をする習慣が身についている生徒が多く基礎学力が定着していると思われる。各教科の学習状況は次の通りである。

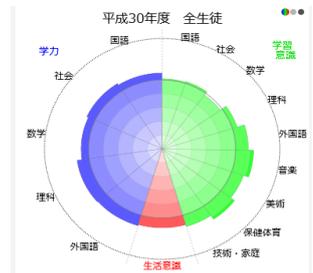
国語：読む能力に課題がある。文章中の言葉に着目しながら思考できるような言語活動を取り入れる。

社会：資料を読み取る力や理解力が高い。思考・判断・表現力をより伸ばしていきたい。

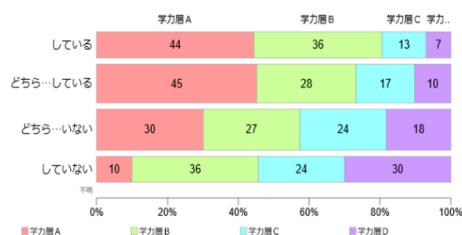
数学：学年によりバラつきがあるものの、総じて市平均を上回っている。数学の有用性や「よさ」を実感させられるような授業展開を心掛け、学習意欲とともに学力の一層の向上を図りたい。

理科：「知識・理解」がやや高く、自ら学ぼうとする姿勢があるため、グループワークでの学び合いを授業に取り入れ、知識・技能を活用する力を伸ばしていきたい。

外国語：「聞くこと」の力を生かし、実際のコミュニケーションの場面において習得した知識を活用できる技能を身に付けるよう授業を展開する。



2) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計による分析



全生徒において自己有用感に関する項目の回答は低くないが「授業では自分の考えを公表していますか。」という項目について外国語の学力層とクロス集計をしてみると、「よくしている」と回答している学力層 C、D の生徒は10%に満たない。この傾向は他教科でも同様である。生徒一人ひとりが自信をもって発表できる機会を設けるような授業展開の工夫が必要である。

3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

| | 育成を目指す 具体化した資質・能力 | 具体的取組 | |
|-----|-------------------------------|---|----|
| | | 前期 | 後期 |
| 国語 | 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 | 一人ひとりが自分の問いをもち、言葉を通して他者と対話しながらその問いを解決していく言語活動を意図的に位置づける。 | |
| 社会 | 主体的に社会参画していくため、多面的多角的に思考していく力 | 社会的事象の理解をもとに、他者との対話を通して、自らが社会に参画していく姿勢と意思を育む学習を展開する。 | |
| 数学 | 課題に対応する力 | 他者と関わって日常の事象を数理的に考察したり論理的に説明したりする数学的活動を積極的に展開する。 | |
| 理科 | メタ認知する力 | 実験の計画や事象の説明をする活動を取り入れ、仮説の議論や結果の共有、考察等において協働的に学び学習を振り返る場面を設定する。 | |
| 音楽 | 自分らしさを発揮しようとする姿勢 | 生徒自身が表現したい美しさや躍動感、爽快感などをのびのびと歌唱や器楽で伝え、また鑑賞で自分が感じた美しさを意見交換する学習を展開する。 | |
| 美術 | 自分らしさを発揮しようとする姿勢 | 生徒自身の独自の感覚や美しさを恥ずかしがらず、主張、作品化出来る環境を作り、自分らしい良さや美しさを考えたりすることを重視した学習を展開する。 | |
| 保体 | 自己肯定感 | 生徒が学習の見通しをもち、自らの課題を発見し、課題解決を図る取組を通して運動の楽しさ、達成感を味わえる授業を展開する。 | |
| 技・家 | 課題に対応する力 | 生活や社会の中から問題を見つけだして課題を設定し、自分なりの最適な解決策を追及する活動を設定する。 | |
| 外国語 | 外国語を通じて言語の働きや役割を理解する力 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的・社会的で具体的な話題について表現し伝え合う学習過程の工夫・改善・充実を図る。 | |
| 道徳 | 相手の気持ちや立場を考えて行動する力 | 語り合いによって、子どもたちが自分なりに納得して、印象に残る授業を展開する。 | |
| 特活 | 学校生活へ参画する姿勢 | 所属する学級や委員会等の活動から課題を見だしその解決のために話し合い、合意形成を図り、集団の意思決定を行う活動を設定する。 | |
| 総合 | 自らの生き方を考え、よりよい社会を創造する力 | 1年次には地域の現状について、2年次には現存する職業について、3年次には上級学校について、各自が調べ、発表する。 | |
| 個別級 | 自ら考え対応する力 | 個別の指導計画に基づき、個々の実態に応じて授業形態や学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図るようにする。 | |

